

地形図等利活用シンポジウム

2024年度 公益財団法人図書館振興財団 助成事業

地形図のある学校図書館の創設 実行委員会事務局

(一般社団法人地図協会及び一般財団法人日本地図センターによる共同運営)

2022年4月、新学習指導要領が施行され、全国の高等学校では約50年ぶりに地理総合が必修化されました。地理的事象を多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて構想する力を養うためには、小・中学校からさまざまな地図に触れ親しみ、その役割や有用性について理解するなど継続的な地理教育が必要です。文部科学省では、日常生活と結び付いた地理的技能を身に付ける手段として、国土地理院刊行の地形図（紙地図）の利活用を挙げています。

「地形図のある学校図書館の創設」実行委員会では、全国80ヶ所以上のモデル校を対象に地形図等のセットを無料で配備し、児童・生徒らの利活用の有効性の検証等を目的としたモニタリング調査を行ってきました。選ばれたモデル校からは、感謝と喜びの声とともに、地域の地理・防災・文化・産業・平和等に関する図書館や教室での調べもの・イベント・授業など、児童・生徒に対する様々な利活用方法が提案・実践されています。

今般、これらモデル校での利活用事例を紹介するとともに、教育現場での地形図利活用の有効性等について改めて検証すること等を目的に、「地形図等利活用シンポジウム」を開催いたします。大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 開催日時：
2025年3月2日（日）13:30開演～16:30終演（3時間00分）
2. 開催場所
日比谷コンベンションホール（大ホール）
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4
千代田区立日比谷図書文化館 B1階
3. アクセス
東京メトロ 丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口より徒歩約3分
都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A7出口より徒歩約3分
東京メトロ 千代田線「霞ヶ関駅」C4出口より徒歩約3分
JR 新橋駅 日比谷口より 徒歩約10分



◆当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。日比谷公園内に「日比谷駐車場」があります。

◆2025年3月2日は「東京マラソン」の開催日です。会場周辺の交通規制にご注意ください。



4. 主催・後援

主催：地形図のある学校図書館の創設実行委員会

後援：国土交通省国土地理院

産経新聞社

日本地理教育学会、全国地理教育研究会、日本地図学会

(公社)日本図書館協会

5. 式次第(敬称略)

13:15 受付開始

13:30 開会

13:30～ 開会挨拶：(一財)日本地図センター 理事長 稲葉 和雄

13:35～ 事業紹介：(一社)地図協会 理事長 五本木 秀昭

13:45～ 助成団体から：(公財)図書館振興財団 事務局長 佐藤 達生

13:55～ 「紙の地形図利用を無くしてはならない」

玉川大学 名誉教授/名城大学 特任教授 寺本 潔

14:10～ 「地図で日本を正しく知ってもらうことの重要性」

内閣官房 領土・主権対策企画調整室 内閣参事官 上村 秀樹

14:20～ 「地形図等の活用事例の紹介」

事例1：専修大学松戸高等学校 教諭 泉 貴久

事例2：東京都立三鷹中等教育学校 教諭 伊藤 智樹

事例3：藤沢市立大清水中学校 教諭 寺田 京子

事例4：大妻中野中学校・高等学校 教諭 牛込 裕樹

15:15～ ワークショップ「地形図等の利活用」

日本大学経済学部 教授 ト部 勝彦

15:50～ 総合討論

ファシリテーター：玉川大学 名誉教授/名城大学 特任教授 寺本 潔

参加者：登壇者代表

ビデオゲスト：前全国地理教育研究会会長 高橋 基之

16:25～ 閉会挨拶：(一社)地図協会 理事長 五本木 秀昭

16:30 閉会

6. 参加方法

事前申し込みによる対面参加（200名まで）

以下のメールを送信してください。申込用紙を送信します。

件名：「地形図等利活用シンポジウム参加希望」

本文：「氏名」を記載してください

宛先：地形図のある学校図書館の創設 実行委員会事務局 日本地図センター

E-mailアドレス： chizukan@jmc.or.jp